

# 初年次ゼミナールについて考える(1)

主催：札幌学院大学 FD センター

日時：2012 年 1 月 22 日（木）15:00～16:30

会場：C館 4階会議室（C410）（事前の申し込みは不要です）

対象：本学の教職員ならびに非常勤講師のみなさま



初年次教育の重要な役割のひとつに、高校までの受身の学習姿勢を変え、学生を自律的、主体的な学び手に変革することがあります。その背景には、現代社会で正解がない（正解が分かりにくい）問題に向き合う際、多様な知を組み合わせ、活用可能な知に再構成することが求められていること。そのためには、自律的、主体的な学びの態度が不可欠であり、これを身に付けた人材が社会から求められていること。つまり、こういう観点からの教育が学生の就業力、雇用可能性を高めていくことにあります。

その教育の場として、双方向的、協調的な学びを中心とした少人数ゼミナールが有用とされています。今、本学ではひとり一人の教員が熱心に試行錯誤を繰り返しながら、これに挑戦しています。しかし、学生の態度の変容、変換を促す取組は、とても高度な教育活動でもあります。

本年度の FD 研究会は、「初年次学生の学び」を通年の共通テーマに掲げています。そこで、学生の態度変容という観点から初年次ゼミナールについて考える機会を何度か用意しようと考えています。

今回の FD 研究会はその第 1 回として「学生就職支援の一環としてコミュニケーションを養成する」ことを目的に教養ゼミナールを担当されている佐野先生の問題意識や実践報告を題材に、参加者間で自由に語り合う場を設けたいと思います。

## プログラム概要：

15:00～15:45 実践報告（質疑応答含む）

佐野 友泰氏（人文学部臨床心理学科）

コミュニケーション力養成のためのトレーニング

15:45～16:30 フリーディスカッション

## 獲得目標：

- ・ 今、企業が求める「コミュニケーション力」とは何か、について考えるきっかけを得る
- ・ 「コミュニケーション力」を身に付けさせるいくつかの方法の理論的背景を認識する
- ・ 自身が担当する初年次ゼミナールにおいて実践に使えるようなヒントを得る

## 報告概要：

- ・ 佐野 友泰氏

報告者はコミュニケーション力が様々な場面で求められているのにもかかわらず、コミュニケーション力の定義が曖昧なことに着目し、コミュニケーション力を「①.相手の話を聞き、理解する。」「②.要点をふまえた質問をする。」「③.質問に対して自分の意見や伝えるべき情報を的確に述べる。」「④.親しくない相手にもある程度の雑談をする。」ととらえました。そして、これらの能力について、教養ゼミナールにおいて、カウンセリングの立場より提供できるトレーニングを試みました。報告では、実際のトレーニングの内容と、ゼミナール前後における受講学生のパーソナリティ、コミュニケーションスキルの変化、感想、課題などについてお話したいと思っています。